



川内小学校だより

ゆずり葉

第9号

平成29年7月20日
桐生市立川内小学校発行



有意義な夏休みに

子どもたちは、今日、通知表を持って帰ります。通知表には学習の状況のほかに、頑張ったことやできるようになったことが書かれています。そして、こんなことができるようになってほしいという課題も書かれています。

私は、終業式で、子どもたちに通知表を何度も読み、1学期を振り返ることが、次へのスタートになるという話をしました。

保護者の皆様には一緒に通知表をご覧ください、たくさん認めて、あたたかい励ましの言葉をかけていただきますようお願いいたします。

保護者の皆様には4月7日の始業式から本日の終業式まで、学校へのご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。

明日から35日の夏休みが始まります。子どもたちにとっては待ちに待った夏休みです。大いに楽しんでほしいと思います。高田敏子さんの詩ではありませんが、充実した夏休みになることを願っています。そのために次のことに特に気を配っていただきますようお願いいたします。

- ・早寝、早起き、朝ごはんを続ける
- ・毎日、宿題をする
自由研究や読書にも挑戦する
- ・家の手伝いをする
- ・交通安全を実行する



声をかけるときの参考に

子どもをほめるときはもともとの能力ではなく、具体的に達成した内容を挙げてほめることが重要

例えば

「あなたはやればできるのよ」ではなく、「今日は1時間も勉強できたんだね」が効果的といわれています。（「学力の経済学」より）



忘れもの

高田敏子

入道雲にのって
夏休みはいつしまった
「サヨナラ」のかわりに
すばらしい夕立をふりまいて

けさ 空はまっさお
木々の葉の一枚一枚が
あたらしい光とあいさつをかわしている

だがキミ！夏休みよ
もう一度もどってこないかな
忘れものをとりにさ

迷子のセミ
さびしそうな麦わら帽子
それからぼくの耳に
くっついてはなれない波の音